

# 平成26年度 学校評価実施報告書

学校名( 京都市立伏見板橋幼稚園 )

## 1 平成26年度 重点評価項目

1.確かな学力の育成(絵本を活用した教育活動) 2.豊かな心の育成(人と親しみ, かかわりを深める力の育成) 3.健やかな体の育成(基本的生活習慣の確立・健やかな体の育成)

## 2 1回目評価

定	重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定					自己評価		学校関係者評価	
	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日	平成26年7月23日	評価日	平成26年7月29日
						評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 ○学校評議員
						分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学 校評議員による改 善に向けた支援策
1	確かな学力	絵本を活用した教育活動 教育活動・教育環境の充実	・日常の保育の中での絵本の読み聞かせの充実 ・園だよりでの絵本の紹介 ・「親子で絵本」の活用 ・保育の振り返りの充実 ・園内研修の充実 ・園だよりによる発信	・保育の記録(週案の書き込み) ・「親子で絵本」の実践結果 ・担任は一人一人の子どもをよく理解して指導や援助をしているか	・通常保育における絵本の読み聞かせ率90%以上 ・全園児(全保護者)が「親子で絵本」を活用 「そう思う」と答えた保護者の割合100%	⇒	・昨年度の研究に引き続きの取組でもあり、絵本を活用した教育活動への教員・保護者の意識は高い。 ・園の教育活動への保護者の信頼度は高い。 ・運動会等の行事の取組における保護者の要望や疑問などが多岐にわたる。	⇒	・園の行事を形どらえるのではなく、しっかりと意味づけをしていくことが大切である。また、それをきちんと伝えていく。 ・幼稚園の行事において、学校評議員をはじめとする地域の団体が参加協力をしていく。
2	豊かな心	人と親しみ, かかわりを深める力の育成 体験活動を通じた健やかな心の育成	・「人とかかわり」に視点をのこした園内研修の充実 ・幼稚園きょうだいの取組 ・小動物や小さな生き物の飼育 ・季節を通しての栽培活動や収穫・食育	・研究保育・エピソード研修 ・子どもは友達に思いを伝えたり相手の思いを聞こうとしたりしているか ・子どもは幼稚園で育てている植物の生長に興味をもって世話をしているか ・子どもは小さな生き物に親しみをもってかかわろうとしているか	・各学級における研究保育の実践 ・「そう思う」と答えた保護者の割合94% 「そう思う」と答えた保護者の割合91%	⇒	・園内研修において「人とかかわり」に重点をおく取組を実践していることや、幼稚園きょうだいの取組を通して、人と親しみ、かかわりを深める力が育ってきている。 ・健やかな心の育成において、飼育活動を通しての意識は高いが、栽培活動を通しての意識には個人差が大きい。	⇒	・今の時期、十分に子どもとかかわって子育てをしていきたいと思う。公立幼稚園における「人とかかわり」の力の育成を大切にしている。 ・園の方針や取組について、例年通りではなく、丁寧に伝えていくことが大切である。毎年、「新しい人」が入ることを意識する。
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立 健やかな体の育成	・幼稚園生活における生活リズムを整える ・日常保育の中での声かけの実践 ・保護者啓発 ・日常保育の中での身体を動かす経験の充実 ・保育環境の見直し	・持ち物の始末や着替えを最後までやり切ろうとしているか ・子どもは身体を動かして遊ぶことが好きであるか	「そう思う」と答えた保護者の割合91% 「そう思う」と答えた保護者の割合100%	⇒	・基本的生活習慣については、発達段階的に子ども自身に対する取組と共に、保護者啓発の要素が大きく、家庭によって差がある。 ・健やかな体の育成においては、保護者も教職員も取組の成果が表れていると感じている。	⇒	・数年前に比べると、徒歩での通園でなく、自転車での通園が多くなったと感じる。幼稚園の時期にしか手をつないで歩く機会はなく、徒歩での通園の大切さについて改めて伝えていきたい。
4	独自の取組	小・中・家庭・地域との連携 情報発信の充実	・小・中学校との交流保育 ・地域行事運営の教職員の参画と子どもの参加 ・積極的なホームページの更新 ・園だよりの充実	・園は小学校・中学校・家庭や地域とのつながりを大切にしているか ・ホームページの更新状況 ・園の教育方針や子どもの活動の様子は伝わっているか	「そう思う」と答えた保護者の割合98% 前期での更新回数100回以上 「そう思う」と答えた保護者の割合100%	⇒	・小・中・家庭・地域との連携においては、取組の成果が表れている。 ・ホームページや園だよりの情報発信は順調に行っている。	⇒	・保護者の疑問や意見については初期対応を丁寧にしていくことが必要。 ・地域の子どもたちを地域で育てていくことの大切さを感じている。